

## 小野子山山行記録



コースを間違った男坂

目的地	小野子山 (赤芝口～小野子三山)	期 日	平成19年2月4 (日)
山人	森庄一、中野茂、笠原正雄	特 記	強風予報のため越後白山の予定を変更して群馬へ

地名	(着)～(発)	天候	記 事
与板発	7:00	曇	小千谷～月夜野高速道。高山村から目標の山を見る。路上温度計-2℃。
赤芝登山口発 h 798.4	9:50	晴	舗装の林道は雪のある所は僅かであった。本日ここからの入山者は我々のみ。登路は凍土となり霜柱で持ち上げられている。それを雪が覆っている。
支尾根に上がる	10:30	晴	姉妹ツツジを経て尾根に上り少し立ち休み。尾根は雪と枯葉とが交互に現れ、徐々に積雪量が増してくる。歩調違いから隊バラけた。
小野子山 h 1208.3	11:00～11:10	〃	日差しを受けるが、登るにつれて風が強く冷たい。頂と南面は雪が無い。雨具上衣を着る。風を避けて南側に少し降りて休む。雨乞山から男2人が上がって来た。彼らはここまでのようだ。
高山村林道分岐 鞍部 h約1020	11:20	〃	雪の急降下10分を森がスパイク付き長靴で猛スピードで降りて行く。中野も長靴。俺だけ登山靴だ。雪が踏まれたところは滑りやすく、時折コースをはずれて軟らかい雪の所を歩く。平坦路2～3分で登りとなる。
中ノ岳 h 1188	11:45～12:00	〃	鞍部を過ぎてからの登りは雪が無かった。およそ15分で傾斜が緩み、数分横移動で頂に出る。同じく南面に下がり風を避けて腰を降ろす。
十字分岐鞍部 h約1060	12:10	〃	右：小野子山林道、左：JR小野上温泉駅(1時間40分)。この降りは小野子山からのそれよりきつく無い。
男坂女坂分岐	12:15	〃	右に女坂の巻道がある。男坂の直登に行く。登り始めると、雪混じりの登路に踏み跡があった。それに従い進むうち徐々に踏み跡が不鮮明になって来た。どうやらコースを誤ったようだ。急傾斜地を無理やり尾根に向かってよじ登る。数分格闘でコースに復帰する。
十二ヶ岳 h 1200.9	12:30～2:00	〃	山頂は雪が無い。小野上からの一夫婦が居た。彼らが迷い踏み跡の主だ。小野子山方向を除いて好展望270度と言ったところだ。山座円盤が設置されている。浅間がひととき白い。遠くに八ヶ岳を見る。小野上村に切れ落ちるような南面に腰掛けランチタイム。晴れ渡り日差しを受ける。ただし風に当たれば寒い。雨具上衣の内にフリースを着る。やはり小野上からの男女5人隊が来てそして先に下山して行った。最後は我々だけとなる。
高山村林道分岐	2:55	〃	中ノ岳で10分腰を降ろして休み、ここから林道を通って下山とする。雪道の下りで少し滑りやすい。若年杉の植林地の作業道を進む。
舗装林道	3:30	〃	センターラインのある舗装道に出る。凍る道を薄く雪が覆っている。滑って2度しりもちをついた。途中、高山牧場展望地に十数台のPがある。
赤芝登山口着	4:10	〃	長い林道歩きだった。中山本宿に戻る途中の看板に三国街道とある。その中に参勤交代で新発田・村松藩等に並んで与板藩が通ったとの記述があった。路上温度計0℃、朝とたいして変わっていない。帰板後みよしのへ。

おとしの秋、斉藤夫妻、五十嵐(千)とこの山に出掛けた。同じトレイルで十二ヶ岳を残してしまった。その時と同様、越後は強風の予報のため、白山の当初計画を変更した。3日前のYHC集会後の「かっぱ」でメンバーが決まった。大先輩の森氏と歩くことが出来、幸いである。ガイド本に書かれている通り十二ヶ岳は素晴らしい展望の山だ。